

Do you know "Organic"?



— “有機農産物”を知っていますか? —
NPO法人 熊本県有機農業研究会

“有機農産物”ってなに?

有機農業は、自然との調和を大切に、化学肥料や農薬に頼らず丁寧な土づくりをすることで、そこに生息する多様な生きものと共生しながら行う農業のこと。つまり「有機(オーガニック)農産物」は、環境や食の安全に配慮して作られた農産物なのです。厳しい基準のある有機農産物ですが、大きな特徴としては次のようなものがあります。

特徴①
国の登録認定機関による認定を受け、『有機JASマーク』を表示していること。



特徴②
種まき前2年以上(多年生作物は収穫前3年以上)農薬・肥料に頼らずに土作りをした田畑で農産物を作ること。遺伝子組換え技術を利用しないこと。



特徴③
栽培から出荷まで記録を取り、その農産物がどうやって作られたのか、確認できること。



このマークが有機農産物の証!

日本のJAS法では、有機農産物と有機農産物加工品を「有機」「オーガニック」として販売する場合、『有機JAS認定』を受け、『有機JASマーク』を表示することが義務づけられています。この認定を受けるためには厳しい基準をクリアし、認定後は日々の作業を細やかに記録・開示をしなければなりません。つまり、このマークは、自然・環境・人に優しい「オーガニック」であることの信用の証なのです。



『NPO法人 熊本県有機農業研究会』は、有機JASの登録認定機関であるとともに、有機農業の普及啓発活動も行っています。活動についての詳細は裏面をご覧ください。

他の野菜となにが違うの?



■ 「無農薬野菜」「減農薬野菜」と「有機農産物」はちょっと違うのです。

混同されやすいのが「有機(オーガニック)」と「無農薬・減農薬」。有機は農薬以外に肥料などにも多くの制限があり、その作物の栽培期間中だけでなく、過去2~3年以上にわたる栽培履歴が問われます。どうしてもという場合のために選定されている農薬や肥料などは、酢や石灰といった自然由来のものが中心です。また、有機JASという国際的に通用する規格があり、取り締まる法制度まであることも違いのひとつです。

有機農産物は、値段が高い?

他の野菜と比べて、有機農産物は「ちょっとお高い…」と感じる方もいらっしゃいます。有機農産物は化学的なものできるだけ排除して作られるので、その分の人件費や手間がかかり、どうしても価格が割高になりがちです。でも「健康な野菜」である有機農産物は「傷みにくい」「まるごと食せる」という性質を持っています。つまり長持ち&捨てる部分なく使い切ることができるので、結果的には「お高い買い物」ではないのです。

どこで買えるの?

有機農産物の野菜は、お店の有機コーナーやマルシェ以外でも「宅配システム」で購入可能です!

有機農産物って、きもきもおいしいの?

季節によりそって作っているため、冬は根菜類が寒さをしのぐために甘みを増し、夏は強い太陽の日差しを受けて抗酸化力を増すなど、野菜本来のうまみが育まれます。また、その季節に必要な栄養素が、有機農産物の旬野菜にはぎゅっと詰まっています。

有機野菜だからまるごと食せる!

『ベジブロス(野菜だし)』

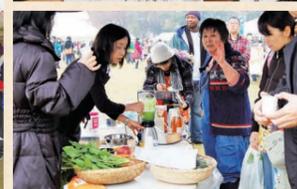
普段なら捨てる皮やヘタ、種を水とお酒でコトコト煮詰めるだけで、自然のうまみと栄養が濃縮された『ベジブロス(野菜だし)』がとれます。スープやカレーのベースにと大活躍しますよ。

このマークを目印に探してみよう!

年一回のオーガニック祭りだよ!

ゆっきフェスタ

これまで有機(オーガニック)に触れたことがない方にも、有機農業や有機農産物を知っていただくため、大人も子どもも楽しめるイベントを年一回開催しています。有機農産物・加工品の販売ブースはもちろん、音楽イベントやワークショップなど、一日中遊べて学べる企画が目白押しです。ぜひ、遊びにきてください!



食品だけでなく、オーガニック商品やせっけんなどの販売、地球に優しいエコ・ライフの提案も行っています。就農相談もあるので、有機農業に興味のある方や農業未経験の方もお気軽にお尋ねください。





熊本県有機農業研究会は 1974年から食と環境を守る 活動を続けています

水俣病などの公害問題や環境汚染が多発した1960年代、農家にも農業による被害が広がり、予防医学をめざして草の根運動が始まりました。医者、学者、農家、消費者等多彩な分野の人々が参加し、農業・食品添加物・医薬品などのあり方に疑問を持つ「いのちと土を守る運動」へと発展。1974年に「熊本県有機農業研究会」が設立されました。以来、有機農法の確立と、命や環境・暮らしを守る活動を展開してきました。

2000年には、有機JAS認証制度の開始を受けてNPOに再編、有機JAS認定を行う登録認定機関としても活動しています。



熊有研の部会に参加してみませんか？

【参加対象者】生産者か消費者かなど、何も条件はありません。興味のある方は、どなたでも参加できます！

【参加方法】各部会の活動内容に興味があれば、熊有研の事務局までお気軽にご連絡ください。

種苗部



地域で大切に守り伝えられてきた在来種や固定種の野菜たち。そういった作物の種採り等を楽しみながら、種苗交換会をはじめ学習会等を行い、交流・活動をしています。

食農育部



食を通して、健康や命を育む農業、環境とのつながりを考えます。手作りの味噌やこんにやくなど、先人が育み伝えてきた食文化を学ぶ体験講座などを開催しています！



熊本県有機農業研究会の理念

「いのちと土を守る」

いのちを守る農業と食生活、健康の見直しをすすめます。有機農業に新たに参入する人たちに応援します。

「食することは環境を体内に取り入れること」

化学物質に頼らずに、自然の持つ生命力を活かした農業で生産される安全な農産物を応援します。環境を守り、持続可能な循環型農業で、自然との共生を図ります。

「身土不二」～人と土は一体である～

地域でとれる旬のものを正しく食べる食育の活動を行います。地域自給を進め、食料自給率の向上をめざします。

「顔の見える関係」

消費者の食卓が見える生産者と、食卓を通して畑が見える消費者、そんな関係を築き、互いに支えあいます。



活動内容

●有機農業の普及啓発事業

有機農業や有機農産物、オーガニックな暮らしの魅力を広く伝えるための普及啓発事業を行っています。熊本オーガニックの祭典「ゆうきフェスタ」の開催をはじめ、食・農・育の考え方を学ぶ食育セミナーや、有機農業推進法に基づく有機農業技術の調査なども行い、食べる側、つくる側の両面から「有機＝オーガニック」を広める活動を行っています。



●有機JAS認定業務

農林水産省に登録された有機JASの認定機関として、生産者、加工業者、流通業者等を対象に認定を行っています。生産者と消費者をつなぐ認定業務を適正に実施するために、長年にわたって有機農業に取り組んできた者、農業や食品加工の専門分野を修めた者などが研修を積み、審査員や判定員として活動しています。



●新規就農者育成事業

「熊本県有機農業者養成塾」

熊本で有機農業での新規就農を目指す方のために、1～2年のプログラムで研修事業を行っています。有機農家で日々の農業研修と月1回以上の集合研修などを通じて、熱い思いを持った有機農家が、有機農業の技術と農村での暮らし方を伝授します！熊本県から青年就農給付金準備型の研修機関として認定されていますので、就農給付金の受給申請が可能です。



入会のご案内

会員募集

熊有研は生産者・消費者・学識経験者など多くの会員からなるNPO法人です。また活動を応援して下さる会員も随時募集しています。年会費はNPOとして社会のニーズに応えた活動を行うために、大切に活用させていただきます。

会員のみならずにはいち早く、ゆうきフェスタ、食育セミナーや講習会など各種ご案内をお届けします。正会員・準会員の方は、特典として参加料割引等もあります。

会員の種類と年会費

正会員	【個人】	初年度 3,000円／2年目以降2,000円
	【団体】	— □ 30,000円
準会員	【個人】	初年度 3,000円／2年目以降2,000円
	【団体】	— □ 20,000円

※寄付についても、一口1,000円から随時受け付けております。

会員になるには

会員申込書を送付いたしますので、お気軽にご連絡ください。

「熊本県有機農業研究会」TEL:096-223-6771



ボランティア大募集

毎年秋開催の熊本オーガニックの祭典「ゆうきフェスタ」では、ボランティアスタッフを募集中です。お手伝いいただける方は、下記の連絡先にお気軽にお問合わせください。ぜひ一緒に熊本の有機を盛り上げましょう！



2015年3月
新事務所
に
引越しました!!

Let's start!!

NPO法人 熊本県有機農業研究会

〒861-8030 熊本市東区小山町1879-3
TEL:096-223-6771 FAX:096-223-6772
MAIL:info@kumayuken.org
HP:http://www.kumayuken.org
FB:http://www.facebook.com/kumayuken

